

空き家や空き店舗といった遊休不動産を利活用することで、コミュニティの活性化や都市型産業の集積といったまちの地域経営課題を解決し、エリアに新たな価値を生み出していく「リノベーションまちづくり」。

今回は、大家を一つの機能として暮らしをつくることを学ぶ「大家の学校」発起人である青木純さん、不動産事業を通じてまちづくりを実践している木本孝広さん、池田峰さんの3名をお招きし、「まちの価値を変える大家業と不動産業という仕事」について学びます。

今ある不動産を生かした未来のまちづくりを描いてみましょう！

まちの学校 vol.12

×

大家の学校

7/23 火

18:00~20:30

会場：マルイ草加店 5階連絡通路

まちの価値を変える 大家業と不動産業という仕事

日時

令和元年 7月23日(火) 18時~20時30分

場所

マルイ草加店 5階連絡通路

参加費

無料 ※終了後懇親会有(参加の場合は別途 3,000 円程度)

対象者

まちづくりに関心がある方
(不動産管理会社、大家、創業希望者、デザイナーなど)

定員

60名

申込方法

7月12日(金)までに氏名、住所、電話番号、メールアドレス、懇親会参加の有無を申請フォーム(QRコードからアクセス)、電話、Eメール、FAXで産業振興課へ
草加市産業振興課リノベーションまちづくり推進係
電話：048-922-0839 FAX：048-922-3406
MAIL：sangyosinko@city.soka.saitama.jp



moderator

青木 純 氏

JUN AOKI



lecturer

木本 孝広 氏

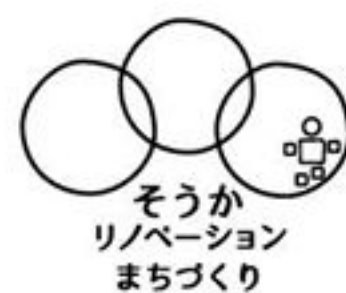
TAKAHIRO KIMOTO



lecturer

池田 峰 氏

MINE IKEDA



主催：草加市

そうかりノベーションまちづくり

協力：そうかりノベーションまちづくり協議会、マルイ草加店

後援：公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部



lecturer

木本 孝広 氏

TAKAHIRO KIMOTO

ダヤマ・カンパニー株式会社代表取締役、(株)シーナタウン取締役。
1973年兵庫県宝塚市生まれ。2013年に不動産賃貸事業のダヤマ・カンパニー株式会社を設立。不動産賃貸事業を通じてまちづくりを実践していく「つくる賃貸」を提唱。長屋をリノベーションした賃貸住宅「inno house(イノハウス)」、カフェを併設したコミュニティー型賃貸住宅「karakusa(からくさ)」をオープン。「φ100mのまちづくり」と題してinno town(イノタウン)というエリアマネジメントを運営開始。まちづくり会社「(株)シーナタウン」の設立に参画。



moderator

青木 純 氏

JUN AOKI

(株)まめくらし代表取締役、(株)nest代表取締役。
1975年東京都生まれ。日本の賃貸文化を変革したカスタマイズ賃貸で新しい市場を創造し、経産省「平成26年先進的なリフォーム事業者表彰」受賞。「青豆ハウス」や「高円寺アパートメント」では住人と共に共同住宅を運営、主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取り組む。生まれ育った豊島区では都電家守舎の代表として遊休不動産の転貸事業や飲食事業「都電テーブル」を展開、「南池袋公園」など公共空間活用も民間主導の公民連携で取り組んでいる。



lecturer

池田 峰 氏

MINE IKEDA

有限会社東郊住宅社 代表取締役。
米国州立大学を卒業後、帰国してグラフィックデザイナーとして就職。その後、広告代理店勤務、ニュージーランド移住などを経て、2012年に家業である管理会社、東郊住宅社に入社。入居者向け食堂「トーコーキッチン」を企画し、2015年12月より運営。朝食100円、昼食・夕食500円で絶賛提供中。2016年度グッドデザイン・ベスト100およびグッドデザイン特別賞[地域づくり]受賞。幼い頃のぬり絵は間取り図。

木本さんによる

φ100mのまちづくり
Inno town(イノタウン)



もともと取り壊す予定だった築50年のメゾネットタイプアパートをリノベーションした賃貸住宅の「inno house(イノハウス)」。住みたい部屋を作ってもらうため、入居者のセルフリフォームを呼びかけ、「つくる賃貸」を実践。壁の塗り替え、棚の設置など、入居者に気兼ねなくリフォームしてもらえるように、退去時の原状回復は不要とした。
リノベーション前には全室空室だったのにもかかわらず、完成前に5部屋すべてが満室の状態に。入居前に住人たちに仕上げのワックスがけへの参加を呼びかけたところ、5世帯全員が参加し、入居前に住人たちの交流が生まれた。
現在では、「φ100mのまちづくり」として、「inno house(イノハウス)」のすぐ近くにカフェを併設したコミュニティー型賃貸住宅「karakusa」、リノベーション賃貸住宅「CANVAS」のほか、美容サロンや雑貨店がオープンし、小さなまちから楽しいが連なっていくこのエリアを「inno town」と名付け、飲み会や結婚式など、住人たちが主体となって様々なイベントが開催されている。

池田さんによる

入居者のための食堂
トーコーキッチン



トーコーキッチン
TOKO KITCHEN



東郊住宅社が淵野辺駅周辺で管理する物件において採用しているカードキーのみで開くドアが設置された特別な気分と安心感を味わえる食堂。入居者、物件オーナー、関係者、東郊住宅社員などのカードキー所有者とその同行者(人数無制限)が利用できる。入居者に利便性と健康的な食生活を提供することを目的とし、化学調味料やレトルトは使用せず、地元で採れた野菜も可能な限り取り入れた食事を朝は100円、昼・夕は500円とリーズナブルな価格で提供すると共においしさや食の安全性を追及している。
食堂の平均利用者数は1日150人~200人ほどで、その多くがリピーター。
入居者同士はもちろん、大家、不動産会社と食を通じてコミュニケーションをとることができ、池田さんも頻繁に食堂を訪れ、入居者とのコミュニケーションを図りながら、不動産屋と入居者が顔が見える関係を築いている。